

[First Hit](#)[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

Generate Collection

Print

L1: Entry 1 of 2

File: JPAB

Mar 14, 1995

PUB-NO: JP407069003A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07069003 ATITLE: PNEUMATIC TIRE

PUBN-DATE: March 14, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KIKUCHI, YASUSHI

SUZUKI, TOSHIHIKO

MAMA, RIICHIRO

HIRAKAWA, SHINICHI

KANAZAWA, KOSHIRO

SUZUKI, FUMITOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

YOKOHAMA RUBBER CO LTD:THE

NIPPON ZEON CO LTD

APPL-NO: JP05220898

APPL-DATE: September 6, 1993

INT-CL (IPC): B60 C 1/00; C08 L 21/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To emit favorable scent when a tire is displayed at a store and the like by providing aromatic perfume in at least an outer surface region of a tire.

CONSTITUTION: Aromatic perfume such as heliotrope whose boiling point is 190°C or more is retained in at least an outer surface region of a tire by the method in which it is kneaded and held or application or spraying. A side wall and tread are preferable as an outer surface, and such perfume that suppresses the odor of rubber is desirable. As a consequence, perfume is emitted from the tire at all times and the odor of rubber is eliminated, and a commodity value can be improved when a tire is displayed at a store and the like.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

[First Hit](#) [Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)**End of Result Set**☐ [Generate Collection](#) [Print](#)

L1: Entry 2 of 2

File: DWPI

Mar 14, 1995

DERWENT-ACC-NO: 1995-144420

DERWENT-WEEK: 200219

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Pneumatic tyre contg. aromatic perfume - contg. heliotrope, jasmine, orange flower, amber and/or musk type aromatic components

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

NIPPON ZEON KK

JAPG

YOKOHAMA RUBBER CO LTD

YOKO

PRIORITY-DATA: 1993JP-0220898 (September 6, 1993)

[Search Selected](#)[Search ALL](#)[Clear](#)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
<input type="checkbox"/> JP 07069003 A	March 14, 1995		005	B60C001/00
<input type="checkbox"/> JP 3262913 B2	March 4, 2002		005	B60C001/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DATE	APPL-NO	DESCRIPTOR
JP 07069003A	September 6, 1993	1993JP-0220898	
JP 3262913B2	September 6, 1993	1993JP-0220898	
JP 3262913B2		JP 7069003	Previous Publ.

INT-CL (IPC): [B60 C 1/00](#); [C08 L 21/00](#)

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 07069003A

BASIC-ABSTRACT:

Pneumatic tyre has outer surface carrying an aromatic perfume.

The perfume pref. comprises an aromatic cpd. having b.pt. at least 190 deg.C. It contains at least one of heliotrope type, jasmine type, orange flower type, amber type and musk type aromatic components.

At least 10% of the outer surface of the tyre carries the aromatic perfume.

The rubber compsn. contains pref. 0.1-10 wt.% of the perfume to 100 wt.% of rubber.

The heliotrope type aromatic components are heliotrope or coumarin. The rose type ones are iso-Bornyl methoxy cyclohexanol or phenyl ethyl alcohol. The jasmine type is methyl dehydrojasmonate.

ADVANTAGE - The tyre emits aroma which deodorises its vulcanised rubber compsn.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/0

TITLE-TERMS: PNEUMATIC TYRE CONTAIN AROMATIC PERFUME CONTAIN JASMINE ORANGE FLOWER AMBER MUSK TYPE AROMATIC COMPONENT

DERWENT-CLASS: A95 Q11

CPI-CODES: A08-M04; A11-C02A1; A12-T01;

ENHANCED-POLYMER-INDEXING:

Polymer Index [1.1] 017 ; H0124*R ; M9999 M2073 Polymer Index [1.2] 017 ; ND01 ; Q9999 Q9256*R Q9212 ; B9999 B4499 B4466 Polymer Index [1.3] 017 ; D01 D11 D10 D19 D18 D31 D50 D88 F27 F26 ; A999 A373 Polymer Index [1.4] 017 ; A999 A373 Polymer Index [1.5] 017 ; D01 D24 D22 D32 D42 D53 D51 D59 D63 D89 F43 ; A999 A373 Polymer Index [1.6] 017 ; D01 D05 D11 D10 D16 D13 D14 D33 D50 D93 F27 F26 F34 ; A999 A373 Polymer Index [1.7] 017 ; D01 D19 D18 D31 D50 D88 F27 F26 ; A999 A373

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1995-066617

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1995-113791

[Previous Doc](#)

[Next Doc](#)

[Go to Doc#](#)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-69003

(43) 公開日 平成7年(1995)3月14日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 C 1/00		A 8408-3D		
		B 8408-3D		
C 0 8 L 21/00	L A Y			

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平5-220898

(22) 出願日 平成5年(1993)9月6日

(71) 出願人 000006714

横浜ゴム株式会社
東京都港区新橋5丁目36番11号

(71) 出願人 000229117

日本ゼオン株式会社
東京都千代田区丸の内2丁目6番1号

(72) 発明者 菊地 也寸志

神奈川県平塚市追分2番1号 横浜ゴム株
式会社平塚製造所内

(72) 発明者 鈴木 俊彦

神奈川県平塚市追分2番1号 横浜ゴム株
式会社平塚製造所内

(74) 代理人 弁理士 小川 信一 (外2名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 空気入りタイヤ

(57) 【要約】

【目的】 加硫ゴムの独特の臭いに起因する、締め切った店舗等にタイヤを陳列したときの不快な雰囲気はなくし、全ての人に好まれるような芳香を発散し得る空気入りタイヤを提供する。

【構成】 少なくともタイヤ外表面領域に芳香性の香料を保持させる。

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくともタイヤ外表面領域に芳香性の香料を保持させた空気入りタイヤ。

【請求項2】 前記香料が沸点190℃以上の香料化合物からなる請求項1に記載の空気入りタイヤ。

【請求項3】 前記香料がヘリオトロップ系、ジャスミン系、ローズ系、オレンジフラワー系、アンバー系、ムスク系の群からなる香料化合物から選ばれた1種以上の香料成分を含有する請求項1又は2に記載の空気入りタイヤ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、芳香を発散する空気入りタイヤに関する。

【0002】

【従来の技術】一般に空気入りタイヤは、加硫されたゴム組成物を主材料として構成されている。この加硫ゴムは独特の臭いをもっており、一部のマニアには好まれるものの、必ずしも全ての人に好まれるとは言い難いところがあった。そのため、締め切った店舗等にタイヤを陳列した場合など、必ずしも快適な雰囲気になっているとは言えなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、上述のような問題を解消し、全ての人に好まれるような芳香を発散し得る空気入りタイヤを提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】このような目的を達成する本発明は、少なくともタイヤ外表面領域に芳香性の香料を保持させたことを特徴としている。このように少なくともタイヤ外表面領域に芳香性のある香料を保持させたので、そのタイヤから常に芳香を発散させ、快適な雰囲気を形成することができる。

【0005】本発明において、香料とは芳香性を有する物質又はその混合物をいい、特にヘリオトロップ系、ジャスミン系、ローズ系、オレンジフラワー系、アンバー系、ムスク系の香料化合物を1種又は2種以上配合したものが好ましく使用される。さらに具体的な香料として、下記のパチュリ油を主体とするオリエンタルベースにローズ系、アンバー系、ムスク系及びジャスミン系の香料成分を、溶剤のジオクチルフタレート（DOP）と共に上乗せしたタブ（TABU）タイプの香料がある。

【0006】オリエンタルベース：パチュリ油、ハーコリン（メチルアビエテート methylabietate）、バニリン、エチルバニリン、クマリン

ローズ系香料成分：フェニルエチルアルコール、ゲラニオール、イソボルニルメトキシシクロヘキサノール（iso-Bornyl methoxycyclohexanol）

2

アンバー系香料成分：テトラヒドロバラメチルキノリン

ムスク系香料成分：ガラクソリッド、ムスクeton

ジャスミン系香料成分： α -アミルシンナムアルデヒド、メチルジヒドロジャスモネート

また、下記ヘリオトロップ系香料成分を主香調とし、ジャスミン系香料成分、さらに高調性、拡散性を付与するため、ローズ系香料成分やオレンジフラワー系香料成分を溶媒のDOPと一緒に加えたアメシスト（AMETHYST）タイプの香料が挙げられ、これらは甘くて重厚であり、特にゴム臭の抑制に好適である。

【0007】ヘリオトロップ系香料成分：ヘリオトロピン、ムスクeton、クマリン、エチルバニリン、アセチルセドレン、ハーコリン（メチルアビエテート）、オイゲノール、メチルヨノン

ローズ系香料成分：ダマスコン- β 、ダマスコン- α 、イソボルニルメトキシシクロヘキサノール

オレンジフラワー系香料成分：メチルアンスラニレート、 γ -ウンデカラクトン、 γ -ノナラクトン

ジャスミン系香料成分：メチルジヒドロジャスモネート
本発明において、上記香料は、少なくともタイヤ外表面領域に練り込み保持する方法、又は香料を塗布或いは噴霧によって保持する方法等がある。香料の保持域は全表面である必要はないが、好ましくは外表面積の少なくとも10%を占めるようにするのがよい。外表面としては、サイドウォール、トレッド等に付与するのがよい。

【0008】香料をタイヤの外表面領域に保持させる手段は特に限定されないが、保持の持続性を高くする上では練り込みが最適である。勿論、塗布や噴霧等により直接付与することもできる。練り込みにより保持させる香料としては、沸点が190℃以上の香料成分を使用することが望ましい。例えば、ヘリオトロップ系、ジャスミン系、ローズ系、オレンジフラワー系、アンバー系、ムスク系の香料成分を上げることができる。沸点が190℃以上の香料成分を使用することにより、ゴムとの混練や加硫等の加工中に蒸発逸散したり、分解変質したりするのを防止し、タイヤ製品にした後の芳香性を長期間にわたって維持することが可能になる。

【0009】また、練り込みの場合、ゴム組成物中への香料の配合量は特に限定されないが、好ましくは原料ゴム100重量部に対して0.1～10重量部の範囲にするのがよい。

【0010】

【実施例】表1に示す原料ゴムに、それぞれ加硫促進剤と硫黄を除き、香料を含む各配合薬品を混合し、バンバリーミキサーとロール機を使用して混練し、それぞれ香料の種類と配合量を異にする4種類の未加硫ゴム組成物1～4を得た。

表1

ゴム組成物の種類	1	2	3	4
天然ゴム	70	70	70	70
ポリブタジエンゴム	30	30	30	30
カーボンブラック	60	60	60	60
酸化亜鉛	3	3	3	3
ステアリン酸	2	2	2	2
老化防止剤	2	2	2	2
パラフィンワックス	1	1	1	1
アロマテックオイル	15	15	15	15
香料(1)	...	5
香料(2)	0.2	5
加硫促進剤	0.9	0.9	0.9	0.9
硫黄	1.5	1.5	1.5	1.5

表1中、香料(1)は表2に示す配合の香料を示す。香料(2)は表3に示す配合の香料を示す。

ポリブタジエンゴムは日本ゼオン社製(ニポール "Nipol" BR 1220)

カーボンブラックはHAF (N330T)

* 老化防止剤はN-1, 3-ジメチルブチル-N'-フェニル-p-フェニレンジアミン

加硫促進剤はN-tert-ブチル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミドである。

* 【0011】

表2

配合成分	重量部	沸点 (℃)
α-アミルシンナムアルデヒド	5	285
フェニルエチルアルコール	10	220
ゲラニオール (Geraniol)	10	230
オイゲノール (Eugenol)	20	253
ベンジルサリシレート (Benzyl salicylate)	30	300
パチュリオイル (Patchouli oil)	120	200<
ガラクソリッド (Galaxolide, 50% Benzyl benzoate)	200	300<
メチルアビエテート (Methyl abietate)	200	365
テトラヒドロ p-メチルキノリン (Tetrahydro p-methylquinoline)	1	265
バニリン (Vanillin)	10	285
エチルバニリン (Ethyl vanillin)	15	-
クマリン (Coumarin)	20	291
ムスクエトン (Musk ketone)	25	-
ジオクチルフタレート (Diocetyl phthalate)	241	384

【0012】

表3

配合成分	重量部	沸 点 (℃)
ダマスコンβ (Damascone β)	1	200<
ダマスコンα (Damascone α)	2	200<
γ-ウンデカラクトン (γ-Undecalactone)	3	200<
γ-ノナラクトン (γ-Nonalactone)	6	200<
ベンジルフェニルアセテート	10	317
リナロール (Linalool)	20	198
ベンジルアセテート (Benzyl acetate)	40	215
メチルジヒドロジャスモネート (Methyl dihydrojasmonate)	90	305
メチルアイオノン (Methyl ionone)	15	230
オイゲノール (Eugenol)	30	253
ガラクソリッド (Galaxolide, 50%Benzyl benzoate)	40	300<
メチルアビエテート (Methyl abietate)	80	365
アセチルセドレン (Acetyl cedrene)	80	260<
エチルバニリン (Ethyl vanillin)	10	-
クマリン (Coumarin)	10	291
ムスクケトン (Musk ketone)	40	-
ジオクチルフタレート (Dioctyl phthalate)	333	384

次いで、これら4種類の未加硫ゴム組成物1~4にそれぞれ表1に示す加硫促進剤と硫黄を配合し、これからそれぞれタイヤ外表面積の18.7%の面積を占めるサイドウォールを構成して160℃で加硫し、タイヤサイズ195/60HR14の本発明タイヤ1, 2, 3、従来タイヤを製作した。

【0013】これら4種類のタイヤについて、下記評香方法によりタイヤの匂いを判定したところ、その結果は表4に示す通りであった。

評香方法：試験タイヤを、ステンレス製の無臭ボックス（室）内に縦に載置し、24時間1ヶ月間及び6ヶ月間*

*それぞれ放置した後、前記無臭ボックスに設けた嗅ぎ穴から5人のパネルメンバーが評香し、次の基準により判定した。

-2：ゴム基材の臭がより強調された

-1：ゴム基材の臭がそのまま残っていた

0：マスキング効果のみ

+1：マスキング効果に加えて好ましい芳香が付香された

+2：マスキング効果に加えてより好ましい芳香が付香された

【0014】

表4

	従 来 タイヤ	本発明 タイヤ 1	本発明 タイヤ 2	本発明 タイヤ 3
サイドウォール ゴムの種類	1	2	3	4
匂いの判定				
24時間後	-1	+1	+1	+2
1ヶ月後	-1	+1	+1	+1
6ヶ月後	-1	+1	+1	+1

本発明タイヤ1, 2, 3は、いずれも従来タイヤに比べて著しく良好な香りを24時間経過後、1ヶ月経過後及び6ヶ月経過後共に発散していた。

【0015】

【発明の効果】本発明の空気入りタイヤは、少なくとも*

*外表面領域に芳香性の香料を保持させたので、タイヤから常に芳香を発散し、タイヤ本来のゴム臭をなくすることができる。したがって、快適な雰囲気をもたらす店舗に陳列した場合の商品価値を高めることができる。

フロントページの続き

(72)発明者 真間 理一郎
神奈川県平塚市追分2番1号 横浜ゴム株式会社平塚製造所内
(72)発明者 平川 慎一
神奈川県川崎市川崎区夜光一丁目2番1号
日本ゼオン株式会社内

(72)発明者 金澤 孝四郎
神奈川県川崎市川崎区夜光一丁目2番1号
日本ゼオン株式会社内
(72)発明者 鈴木 文敏
神奈川県川崎市川崎区夜光一丁目2番1号
日本ゼオン株式会社内

* NOTICES *

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Industrial Application] This invention relates to the pneumatic tire which emits aroma.

[0002]

[Description of the Prior Art] Generally the pneumatic tire is constituted considering the vulcanized rubber constituent as a charge of a principal member. There was a place which is hard to be referred to as that it is not necessarily liked by all men although this vulcanized rubber has a peculiar smell and is liked by some maniacs. Therefore, when a tire was displayed at the closed store, it was not necessarily able to be said that it had been a comfortable ambient atmosphere.

[0003]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] The purpose of this invention solves the above problems and is to offer the pneumatic tire which can emit aroma which is liked by all men.

[0004]

[Means for Solving the Problem] This invention which attains such a purpose is characterized by making fragrant perfume hold to a tire outside-surface field at least. Thus, since the perfume which has fragrance in a tire outside-surface field at least was made to hold, aroma can be made to be always able to emit from the tire, and a comfortable ambient atmosphere can be formed.

[0005] In this invention, perfume means the matter which has fragrance, or its mixture, and one sort or the thing blended two or more sorts is especially used preferably in the perfume compound of a heliotrope system, a jasmine system, the Lowe's system, the Orange flower system, an amber system, and a musk system. There is perfume of the tab (TABU) type which added the perfume component of the Lowe's system, an amber system, a musk system, and a jasmine system to the oriental base which makes the following patchouli oil a subject as still more concrete perfume with the dioctyl phthalate (DOP) of a solvent.

[0006] Oriental base : Patchouli oil, HAKORIN (methyl loon ETETO methylabietate), A vanillin, ethyl vanillin, a coumarin rose system perfume component : Phenyl ethyl alcohol, a geraniol and ISO-bornyl methoxy cyclohexanol (iso-Bornyl methoxycyclohexanol) amber system perfume component: -- tetrahydro PARAMECHIRU quinoline musk system perfume component: -- a GARAKU solid -- alpha-amyl cinnamaldehyde, methyl dihydrojasmonate, and the following heliotrope system perfume component are made into the main scent tone. Musk ketone jasmine system perfume component : A jasmine system perfume component, in order to give high-pitch nature and diffusibility further, The perfume of the amethyst (AMETHYST) type which added the Lowe's system perfume component and the Orange flower system perfume component together with DOP of a solvent is mentioned, and these are sweet, profound and suitable for especially control of a rubber smell.

[0007] Heliotrope system perfume component : A heliotropin, musk ketone, a coumarin, Ethyl vanillin, acetyl cedrene, HAKORIN (methyl loon ETETO), An eugenol, a methyl ionone rose system perfume component: Pellet SUKON - beta, pellet SUKON - alpha, ISO-bornyl methoxy cyclohexanol Orange flower system perfume component : In methylanthranilate, gamma-undecalactone, and gamma-nonolactone

jasmine system perfume component:methyl dihydrojasmonate this invention The above-mentioned perfume has the approach which elaborates to a tire outside-surface field and which is held to it at least, or a method of holding perfume according to spreading or spraying. Although the retention area of perfume does not need to be all front faces, it is good to occupy at least 10% of an outside-surface product preferably. As an outside surface, it is good to give a sidewall, a tread, etc.

[0008] Although especially a means to make perfume hold to the outside-surface field of a tire is not limited, a scour lump is the optimal when making durability of maintenance high. Of course, spreading, spraying, etc. can also give directly. As perfume made to hold by scour lump, it is desirable for the boiling point to use a perfume component 190 degrees C or more. For example, the perfume component of a heliotrope system, a jasmine system, the Lowe's system, the Orange flower system, an amber system, and a musk system can be mentioned. When the boiling point uses a perfume component 190 degrees C or more, it becomes possible to maintain the fragrance after preventing carrying out evaporation fly off during processing of kneading with rubber, vulcanization, etc., or carrying out decomposition deterioration and using it as a tire product over a long period of time.

[0009] Moreover, in a scour lump, especially the loadings of the perfume to the inside of a rubber constituent are not limited, but it is good to make it preferably the range of 0.1 - 10 weight section to the raw material rubber 100 weight section.

[0010]

[Example] Each combination chemical which contains perfume in the raw material rubber shown in Table 1 except for a vulcanization accelerator and sulfur, respectively was mixed, it kneaded using the Banbury mixer and the mill, and four kinds of unvulcanized-rubber constituents 1-4 which differ in the class and loadings of perfume were obtained, respectively.

表 1

ゴム組成物の種類	1	2	3	4
天然ゴム	70	70	70	70
ポリブタジエンゴム	30	30	30	30
カーボンブラック	60	60	60	60
酸化亜鉛	3	3	3	3
ステアリン酸	2	2	2	2
老化防止剤	2	2	2	2
パラフィンワックス	1	1	1	1
アロマテックオイル	15	15	15	15
香料(1)	...	5
香料(2)	0.2	5
加硫促進剤	0.9	0.9	0.9	0.9
硫黄	1.5	1.5	1.5	1.5

Perfume (1) shows the perfume of combination shown in Table 2 among Table 1. Perfume (2) shows the perfume of combination shown in Table 3.

Polybutadiene rubber is the Nippon Zeon Co., Ltd. make (NIPORU "Nipol" BR 1220).

Carbon black is HAF (N330T).

The N-1 and 3-dimethyl butyl-N'-phenyl-p-phenylene diamine vulcanization accelerator of an antioxidant is N-tert-butyl-2-benzothiazole sulfenamide.

[0011]

表 2

配合成分	重量部	沸 点 (℃)
α -アミルシンナムアルデヒド	5	285
フェニルエチルアルコール	10	220
ゲラニオール (Geraniol)	10	230
オイゲノール (Eugenol)	20	253
ベンジルサリシレート (Benzyl salicylate)	30	300
パチュリオイル (Patchouli oil)	120	200<
ガラクソリッド (Galaxolide, 50%Benzyl benzoate)	200	300<
メチルアビエート (Methyl abietate)	200	365
テトラヒドロ p-メチルキノリン (Tetrahydro p-methylquinoline)	1	265
バニリン (Vanillin)	10	285
エチルバニリン (Ethyl vanillin)	15	-
クマリン (Coumarin)	20	291
ムスクケトン (Musk ketone)	25	-
ジオクチルフタレート (Diocetyl phthalate)	241	384

[0012]

表 3

配合成分	重量部	沸 点 (℃)
ダマスコンβ (Damascone β)	1	200<
ダマスコンα (Damascone α)	2	200<
γ-ウンデカラクトン (γ-Undecalactone)	3	200<
γ-ノナラクトン (γ-Nonalactone)	6	200<
ベンジルフェニルアセテート	10	317
リナロール (Linalool)	20	198
ベンジルアセテート (Benzyl acetate)	40	215
メチルジヒドロジャスモネート (Methyl dihydrojasmonate)	90	305
メチルアイオノン (Methyl ionone)	15	230
オイゲノール (Eugenol)	30	253
ガラクソリッド (Galaxolide, 50% Benzyl benzoate)	40	300<
メチルアビエテート (Methyl abietate)	80	365
アセチルセドレン (Acetyl cedrene)	80	260<
エチルバニリン (Ethyl vanillin)	10	-
クマリン (Coumarin)	10	291
ムスクケトン (Musk ketone)	40	-
ジオクチルフタレート (Diocetyl phthalate)	333	384

Subsequently, the vulcanization accelerator and sulfur which are shown in Table 1, respectively were blended with these four kinds of unvulcanized-rubber constituents 1-4, and the sidewall which will, from now on, occupy 18.7% of area of a tire outside-surface product, respectively was constituted, it vulcanized at 160 degrees C, and the tire was manufactured this invention tires 1, 2, and 3 of tire size 195 / 60HR14, and conventionally.

[0013] When the smell of a tire was judged by the following **** approach about these four kinds of tires, the result was as being shown in Table 4.

**** approach: -- it laid perpendicularly in the no odor box made from stainless steel (room), and the trial tire was prepared in said no odor box, for [24 hour] one month and after leaving it for six months, respectively -- it smelled, five panel members ****(ed) from the hole, and it judged by the following criteria.

- +2 by which desirable aroma was ****(ed) in addition to the +1:masking effect only in 0:masking effect in which the smell of -1:rubber base material with which the smell of 2:rubber base material was emphasized more remained as it is : [0014] by which more desirable aroma was ****(ed) in addition to the masking effect

表4

	従 来 タイヤ	本発明 タイヤ 1	本発明 タイヤ 2	本発明 タイヤ 3
サイドウォール ゴムの種類	1	2	3	4
匂いの判定				
24時間後	-1	+1	+1	+2
1ヶ月後	-1	+1	+1	+1
6ヶ月後	-1	+1	+1	+1

Both this invention tires 1, 2, and 3 were all emitting the remarkable good scent compared with the tire after 24-hour progress, one-month progress, and six-month progress conventionally.

[0015]

[Effect of the Invention] Since the pneumatic tire of this invention made fragrant perfume hold to an outside-surface field at least, it can always emit aroma from a tire and can lose the rubber smell of tire original. Therefore, the commodity value at the time of bringing about a comfortable ambient atmosphere and displaying at a store can be raised.

[Translation done.]

* NOTICES *

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] The pneumatic tire which made fragrant perfume hold to a tire outside-surface field at least.

[Claim 2] The pneumatic tire according to claim 1 with which said perfume consists of a perfume compound of 190 degrees C or more of boiling points.

[Claim 3] The pneumatic tire containing one or more sorts of perfume components chosen from the perfume compound with which said perfume consists of a group of a heliotrope system, a jasmine system, the Lowe's system, the Orange flower system, an umber system, and a musk system according to claim 1 or 2.

[Translation done.]